

築地体二号太仮名

築地体初号仮名と同じ彫り師によって作られた

小宮山博史

明治四五年刊『改正三号明朝活字書体見本 全』に収録の「太平仮名」を覆刻したものです。^{★図三三}一号仮名もそうですが平仮名は細仮名と太仮名の二種を用意していますが、片仮名は一種しかありません。それも平仮名にくらべてだいたい小さい。片仮名が大きくなったのは、片仮名で外国語の固有名詞を組むようになった近年のことではないでしょうか。

この書体の制作年代と彫り師は不明です。初号仮名と比較してみると脈絡にいくぶんの整理が見られますが、書風は初号仮名と同じですので、彫り師は同じだろうと思われれます。一号太仮名はもしかすると別の彫り師の仕事かもしれませぬ。ゆったりとした

運筆、正方形を意識した布字ふじはそれほど厳格ではなく、仮名固有の字形を生かしているように思え、平仮名の美しさを感じさせます。灰汁あじの強さは抑えられてはいますが、それでも個性的な表情は失われてはいません。明治三六年刊の築地活版『活版見本』にはこの書風の太仮名が四号と五号にも見られます。

やや古典的な印象を与える書体ですので、活字由来の漢字書体と組み合わせるのが無難ですが、それでは面白くないと思われる方はもっと整理定型化を進めた漢字書体と組み合わせ、新しい方向性を見いだしたらいかがでしょうか。またゴシックと組み合わせるアンチック体☆註四三としてこの書体をといても面白いのではないのでしょうか。このくらい品質の高い仮名書体であれば、どのような場面でも、どのような使いかたをしても個性を十分に発揮するはずです。

★築地体初号仮名（六〇級）

あめつちほしそ
あめつちほしそ
らやまかはみね
らやまかはみね

★築地体三号太仮名（六〇級）

◎組版仕様

書体=ヒラギノ丸ゴ Std W6 (漢字・欧文・アラビア数字) + 築地体三号太仮名 (仮名, 「日本の活字書体名作精選」より)
見出し=サズ: 60 級/本文 (p.130)=サズ: 24 級, 字送り: 30 齒, 行送り: 36 齒
本文 (p.131)=サズ: 16 級, 字送り: 20 齒, 行送り: 30 齒, 1 行: 33 字詰め・22 行
◎発行=大日本スクリーン製造株式会社 ◎デザイン・組版=向井裕一 (gymh)

(2005.03.18)

☆註四三……アンチック体 漢字セットを持たない明朝風の両仮名だけの太い書体。漫画の吹き出しのように漢字はゴシック体、仮名はアンチック体を使うことが多い。また国語辞典の見出し語もアンチック体で組む。

書体の豊富なラインアップで有名な青山進行堂活版製造所の明治四〇年頃の総合見本帳『活版略見本』にある「アンチック形」は、太い楷書体でヒゲを取ったヒゲ文字に近く、われわれが持っているイメージとはほど遠い。
昭和九（一九三四）年発行の錦精社活版製造所の総合見本帳「業界の便覧」を見ると、「アンチック形活字」として一号サイズから六号サイズまで、一・二ポイントと九ポイントの八サイズが掲載されているが、すべて明朝風の仮名で、一号と三号は覆刻した築地体一号太仮名、三号太仮名そのものである。
写植では写研に太さを変えた三書体、モリサワも同じく三書体を出している。デジタルフォントではモリサワは一一書体ある。イワタビフォントワークスもリリースしている。

○平假名及び附屬物

いろはにほへこちりぬるをわかかよたれそつね
 ならむうぬるのたぐやまけふこねてあさきゆめ
 みしじぬひひもせすんががぎぐげござじじずぜ
 ぞだぢづでどばびぶべぼびぶべぼとどや西
 ひノカ、マ、ミ、ム、メ、モ、ミ、ム、メ、モ

○太平假名

いろはハオニホヘゴトチリぬるをわかよた
 れせそりつねならむうるのたおくやまけふこね
 えてあおさきゆめみししあゑひもせすんが
 ぎぐげござじじぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
 むびぶべぼ不ばむびぶべぼ不とど、ゝ、ゞ、ゞー

★図三三……築地体三号太仮名は、図三一―一（二二
 五―二二六頁）の仮名見本中の「太平假名」の覆刻で
 ある。二二七頁に日本の活字書体名作精選「築地体三
 号細仮名」「築地体三号太仮名」の書体見本を掲載。

く
ぐ

○萬葉假名

以以海海ハモ不庵とと望想海を日りあをさふ
達社ろ登川次祢ふと屋宇此能乃おをく屋満々
おえろて阿さ記表也免こし志比能務まおが表と
をばおおごおを浪務ろ登さふ竹でどどバむ比能
庵不バむ比や庵不つ竹庵

○片假名及び附屬物

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ子ネ
ナラムウ井井ノオクヤマケフコエテアサキユメ
ミシエヒモセスンノ厩片ノガギグゴザジズゼ
ゾダヂヅデドバビブベボヴバビブペポ、バビ

株式会社東京築地活版製造所